



すきむらづくり協議会によるおもてなしの様子。選手は猪のような力強い競技を披露してくれました

地元でのボート競技普及も目指しています。



『力を合わせて』

『須木庁舎地域振興課』 編

市役所 × すきむらづくり協議会

県内初！湖でのボート競技会開催！！

10月21日（金）、22日（土）、小野湖で宮崎県高等学校新人総合体育大会第43回ボート競技大会兼第28回全国高等学校選抜競漕大会宮崎県予選が開催されました。この大会は九州大会、全国大会につながる大会で、開催に向けて、すきむらづくり協議会を含めた地域住民と連携して会場設営やおもてなしの準備を進めてきました。

当日は、雨が降り、10月にしては冷え込む中、すきむらづくり協議会はおもてなしとして昼食のお供に温かい猪汁を振舞い

ました。

多めに用意した猪汁でしたが、相次ぐおかわりであつという間に完食。猪汁で力をつけた選手は、11月5日（土）、6日（日）開催の九州大会で見事に上位入賞を果たし、全国大会への切符を掴みました。ぜひ、全国大会でもがんばっていただきたいと思ひます。

須木庁舎地域振興課の 主な業務

地方創生、市民協働、商工観光、防犯・防災、管財、総務など

『Hello! Hola! Dia duit! ~ALTの英語コラム~』

ロレーナ先生より
A TREE BRANCH (一枝の木) -from Lorena-

I think it's normal for foreigners to think that all of Japan looks like Tokyo. Kobayashi isn't like that at all, but that's part of its charm. The other day, I was given a tree branch and was told it was キンモクセイ. The scent was sweet and very pleasant, and I thought to myself, "I'm glad I live here, and have time to fully experience the changing seasons."



東京という町が日本のすべてだと思う外国人は少ないと思います。小林は東京とは全く違います。ですが、そこが小林の魅力なのです。というのも先日、一枝の木をいただきました。それは「キンモクセイ」だと教えてもらいました。その香りは甘くて爽やかで、私はその時「小林に住むことができ、季節の変わり目をこういう風に体験することができて嬉しい」と感じました。

国際交流員の『メロンばなし』

四季

5年前に、最初日本に来たときは、同じ質問を何回も聞かれました。「フランスでは四季がありますか？」と。

私にとって、フランスでは四季があるのが当たり前で、その質問はよく分かりませんでした。でも、それから日本のお花見と紅葉狩りに行って、フランスの四季は日本ほどはっきりしていないということが分かってきました。日本は、フランスと異なって、海の日など自然に関係のあるものをたくさん祝います。たとえば、フランスでは夏至という日は自然と関係のある祭りではなくて、音楽を楽しむ日です。

ちなみに、フランスでも紅葉がありますが、紅葉狩りはしません。

